

令和7年度 施策評価シート

基本目標	I 「すみだ」らしさの息づくまちをつくる
政 策	130 水と緑を活かした、美しい景観をつくる
施 策	132 水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる
施策の目標	魅力的な水辺空間や緑豊かな公園が、区民や来街者にうるおいとやすらぎをもたらし、にぎわうとともに、まちの至るところに緑が増え、水と緑を親しむまちになっています。

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「墨田区の公園や水辺を日常的に利用している」区民の割合				
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	R2
目標	43.8%	—	—	—	50%
実績	43.8%	—	—	—	53.8%
	R3	R4	R5	R6	R7
目標	—	—	—	—	60%
実績	—	—	—	—	

指標名	みどり率				
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	R2
目標	20.5%	—	—	—	—
実績	—	—	—	—	20.8%
	R3	R4	R5	R6	R7
目標	—	—	—	—	20.9%
実績	—	—	—	—	

2 目標と現状（実績）についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述		総事業費推移（千円）	
北十間川西側区間（隅田川から東武橋付近）の一体的整備（親水テラス、区道、隅田公園等）、あずま百樹園再整備などの公園新設再整備、江東内部河川の整備等により、うるおいとやすらぎが実感できる水と緑の空間整備を進めた。隅田川沿川エリアについては、大規模民間開発に際し、地域の意見を反映した周辺整備を進めている。 なお、みどり率は増加傾向にあるが、緑化に適した場所が限られており、緑地の整備は進みにくい状況である。引き続き、まちなか緑化や立体緑化を推進していく。		R4	1,588,745
		R5	2,113,532
		R6	2,093,737

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	隅田川沿川地区まちづくり、隅田公園再整備、公園等新設再整備などによる計画的な公園等の再整備や維持管理、緑化推進の取組により、公園や水辺を日常的に利用している区民の割合やみどり率が増加している。

4 今後の施策の運営方針

施策の戦略的方向性	
●	(1) 優先的に資源投入を図る
○	(2) 現状維持とする
○	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る
○	(4) 資源投入の縮小を図る
上記の判断理由	
本区の優先施策である子育て環境や良好な都市環境の創出により、うるおいとやすらぎが実感できる魅力的なまちとするため、水辺空間の整備、公園等の再整備、緑化推進を継続して進める必要がある。	
今後の具体的な方針	
隅田川沿川のまちづくりを着実に進めるとともに、墨田区公園マスタープランに基づく多様なニーズに応じた公園等の整備、地域の緑化活動の支援や緑の拠点づくりを推進する。	

5 この施策に係る事務事業

番号	事務事業名	主管課	決算額(A) (千円)	人コスト(B) (千円)	総事業費 (A+B) (千円)	評価結果
1	隅田川沿川地区まちづくり 推進事業費	都市計画課	29,946	13,731	43,677	現状維持
2	隅田公園再整備事業費	都市整備課	242,845	10,069	252,914	現状維持
3	河川施設維持事業費	都市整備課	63,395	17,393	80,788	現状維持
4	江東内部河川整備事業費	都市整備課	5,038	27,462	32,500	現状維持
5	隅田公園再整備推進経費	都市整備課	8,820	10,069	18,889	廃止を検討
6	公園マスタープラン改定経 費	都市整備課	535	4,577	5,112	廃止を検討
7	公園及び児童遊園維持管理 費（警備経費）	土木管理課	34,087	2,746	36,833	現状維持
8	土木施設監察指導事務費	土木管理課	37	7,323	7,360	現状維持
9	街路樹及び緑地帯維持管理 費	道路・橋りょう課	118,575	9,163	127,738	現状維持
10	公園等新設・再整備事業費	公園課	291,849	23,800	315,649	現状維持
11	親水公園再整備事業	公園課	179,483	12,816	192,299	現状維持
12	区民広場維持管理費	公園課	11,312	14,646	25,958	現状維持
13	公園及び児童遊園維持管理 費	公園課	691,463	14,646	706,109	改善・見直しのうえ継続
14	親水公園維持管理費	公園課	173,818	14,646	188,464	改善・見直しのうえ継続
15	緑と花のまちづくり推進事 業費	環境保全課	8,247	11,143	19,390	現状維持
16	緑と花の学習園及び緑の救 急隊運営費	環境保全課	11,849	3,707	15,556	現状維持
17	緑化推進事業費	環境保全課	559	9,154	9,713	現状維持
18	森林整備体験事業費	環境保全課	269	1,831	2,100	現状維持
19	緑と花のサポーター制度経 費	環境保全課	263	1,608	1,871	現状維持
20	屋上緑化・壁面緑化推進費	環境保全課	760	7,971	8,731	改善・見直しのうえ継続
21	みどりの補助金事業費	環境保全課	253	1,831	2,084	改善・見直しのうえ継続

令和7年度 事務事業評価シート

No. 1

施 策	132 水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる		
事 業 名	隅田川沿川地区まちづくり推進事業費		
主管課	都市計画課	電話番号（内線）	3906
目 的	両国地区（広域総合拠点）及び吾妻橋地区（広域拠点）を結ぶ地区において、隅田川沿川における魅力あるまちづくりを推進する。		
対 象 者	区民、事業者		
根拠法令 関連計画	都市計画マスタープラン		
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託 人員体制・委託先 常勤5・株式会社ポリテック・エイディディ
事業内容	墨田区基本計画において「隅田川沿川エリア」に位置付けられる、隅田川沿いの地域は、隅田川の歴史・文化やみどりを育み、人々が集い交流する場づくりや、沿川の市街地と水辺の連続性、一体性の感じられる市街地環境づくりを進めるとしている。さらに、両国地区と吾妻橋を結ぶ地域のまちづくりを進め、賑わいの連続性の創出や親水性の向上を図るとしている。それらを反映し、令和5年3月にまちづくり方針を策定した。 また、大規模開発に伴い、令和6年3月に地区計画と特定街区の都市計画決定を行った。開発地の公開空地や広場等、それに接続する道路やスーパー堤防、緑道公園の整備について、都・区・事業者が一体となり、魅力あるまちづくりを推進する。		
経 過	開始年度	令和4年度	終了予定 令和10年度
	令和4年1月～10月 隅田川沿川地区まちづくり推進にむけた意見聴取、説明会等を実施 令和4年12月「隅田川沿川地区（蔵前橋～駒形橋周辺）まちづくり方針（案）」策定に係るパブリック・コメント及び説明会の実施 令和4年1月「隅田川沿川地区（蔵前橋～駒形橋周辺）まちづくり方針（案）」を都市計画審議会へ諮問 令和4年3月「隅田川沿川地区（蔵前橋～駒形橋周辺）まちづくり方針」を策定 令和5年7月～令和6年3月 厩橋周辺地区の地区計画及び特定街区を決定し、高度地区の変更に向けた都市計画手続きの実施 令和6年1月「隅田川沿川厩橋周辺地区地区計画」及び「本所一丁目特定街区」の決定、「東京都市計画高度地区」の変更を都市計画審議会へ諮問 令和6年3月「隅田川沿川厩橋周辺地区地区計画」及び「本所一丁目特定街区」の都市計画決定、「東京都市計画高度地区」の都市計画変更		
議会質問 の 状 況			
そ の 他 特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		0	0	6,403	24,305	35,065	55,260
A. 決算額（令和7年度は見込み）		0	0	6,263	19,497	29,946	55,260
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	15,400	25,520	50,000
一般財源		0	0	6,263	4,097	4,426	5,260
執行率（％）		－％	－％	97.81％	80.22％	85.4％	100％
B. 人コスト		0	0	12,269	12,768	13,731	
総事業費（A+B）		0	0	18,532	32,265	43,677	
予算書P（令和7年度）		P215 21		執行実績報告書P（令和6年度）		P170 21	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	19,400	委託料	29,920	委託料	54,950
旅費	97	旅費	15	旅費	169
		使用料及び賃借料	11	需用費	120
				使用料及び賃借料	21
概 要		概 要		概 要	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	住民説明会等の実施回数				単位	回
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
			目標	—	—	—	—	
			実績	—	—	—	—	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	4	4	2	2
		実績	—	—	5	8	3	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		都市計画に関する手続きやまちづくりの進捗、策定の経緯等の説明会及びワークショップの回数						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	墨田区住民意識調査における区の仕事の満足度				単位	ポイント
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
			目標	—	—	—	—	
			実績	—	—	—	—	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	0.42	—	0.46	—
		実績	—	—	0.42	—	0.28	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		「隅田川沿川地区（蔵前橋～駒形橋周辺）が含まれるFブロックの景観・まちなみの向上に関する区の仕事の満足度を指標とし同地区において魅力あるまちづくりを進める。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	令和5年度は地域のまちづくり方針を基に、地区計画及び特定街区の決定、高度地区の変更をすることができた。 令和6年度以降は、地区計画に基づき大規模開発計画の誘導を行うと共に、地域の意見を反映させた周辺整備を推進していく。

課題・問題点
開発事業内に設けられる公開空地などの活用方法やスーパー堤防整備について、地域住民の意見を反映しながら、事業者・東京都・区が連携を図り、開発事業竣工に合わせて進めていく必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 2

施 策	132 水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる					
事 業 名	隅田公園再整備事業費					
主管課	都市整備課			電話番号（内線）	3915	
目 的	浅草・東京スカイツリー間の東西軸の人の流れや賑わいを、公園北部や向島方面などに波及させるために隅田公園の再整備を進め、隅田公園を核とした地域の回遊性を促し、まちの魅力を向上する。					
対 象 者	公園を利用する区民及び来街者（公園を日常利用する近隣住民（親子、高齢者など）、公園で開催されるイベントや第1期再整備による新たな賑わいの場に訪れる来街者など）					
根拠法令 関連計画	都市公園法令、墨田区立公園条例・同施行規則、墨田区公園マスタープラン					
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤3	
事業内容	隅田公園の日本庭園から言問橋までの範囲について、ひょうたん池を囲む楕円園路の整備、築山の切下げ、眺望台の整備、桜の列植、見通しを悪くしている樹木の整理、牛嶋神社南側の広場整備等の第2期再整備を行った。再整備に併せて民間活力を導入し（指定管理、施設設置）、更なる賑わいや公園北側への回遊性を創出した。令和6年度に策定した「隅田公園再整備構想」に基づき、言問橋から小梅小学校までの範囲において、整備コンセプト「子ども向け施設を中心とした、多世代が交流できる憩いの空間」とした第3期再整備を行う。					
経 過	開始年度	令和3年度			終了予定	令和11年度
	[令和2年度] [令和3年度] [令和4年度] [令和5年度] [令和6年度] [令和7年度]	第2期再整備基本計画※ 第2期再整備基本設計、学識経験者を交えた庁内検討会（計5回） 民間活力導入に向けた調査・検討（サウンディング型市場調査） 都市計画事業認可申請・取得（日本庭園～魚つり場） ひょうたん池循環設備等改修工事 第2期再整備実施設計 指定管理者の公募 第2期再整備工事着手（令和5-6債務） 指定管理者の決定 第2期再整備工事完了（令和5-6債務） リニューアルオープンセレモニー実施 都市計画事業変更認可申請・取得（日本庭園～小梅小付近） 第3期再整備基本設計 指定管理者による管理開始（令和7～11年度） ※北十間川・隅田公園観光回遊路事業において実施				
議会質問 の 状 況	[令和4年3月] [令和5年3月] [令和5年9月] [令和6年11月決特] [令和6年11月]	第2期再整備において地域の意見の反映をすること、及び計画的に再整備することについて 言問橋以北における再整備について 民間活力導入に向けた公募について 隅田公園の指定管理範囲について 指定管理者の指定について 言問橋以北の再整備及び魚つり場について 整備構想及び第3期再整備の方向性について				
そ の 他 特記事項	民間活力導入の手法は、第1期・第2期再整備範囲及び隅田公園自動車駐車場を対象とした指定管理者制度と、その事業者によるカフェ等の設置管理許可制度である。 令和7年度に着手する第3期再整備については、令和6年度の「隅田公園再整備推進経費」で策定した再整備構想に基づき進める。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		0	10,000	140,915	159,800	245,700	18,000
A. 決算額（令和7年度は見込み）		0	9,577	133,199	159,800	242,845	18,000
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	41,667	37,500	54,678	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	9,577	91,532	122,300	188,167	18,000
執行率（％）		-	95.77	94.52	100	98.84	100
B. 人コスト		0	13,194	12,269	12,768	10,069	
総事業費（A+B）		0	22,771	145,468	172,568	252,914	
予算書P（令和7年度）		P211		執行実績報告書P（令和6年度）		P165	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
工事請負費	157,500	工事請負費	236,300	委託料	18,000
委託料	2,300	委託料	6,353		
		需用費	167		
		報酬	25		
概 要		概 要		概 要	
・第2期再整備工事（前払金） ・第2期再整備監督補助委託（前払金）		・第2期再整備工事（完成払） ・第2期再整備監督補助委託（完成払） ・オープンセレモニー関連委託 ・オープンセレモニーのノベルティ購入 ・すみだ親善大使（司会進行）への謝礼		・第3期再整備基本設計	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	第2期・第3期再整備範囲面積（累計）				単位	m ²
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		26,300	令和11年度	目標	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	-	-	2,400	2,400	16,500	16,500
		実績	-	-	2,400	2,400	16,500	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		第2期・第3期再整備を着実に進めていくことが公園の更なる魅力向上に繋がるため、活動指標とした。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	「公園・遊び場」に満足している区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		53.1	令和7年度	目標	41.5	-	44	-
				実績	41.5	-	42.4	-
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	46	-	48	-	53.1	-
		実績	46.7	-	50.8	-	51.1	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		魅力的な公園づくりを進めることが、公園・遊び場に満足している区民の割合を高めることに繋がるため、住民意識調査における「公園・遊び場」に満足している区民の割合を成果指標とした。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	第1期、第2期再整備を推進してきたことで、公園に新たな賑わいや人の流れが生まれた。今後は「隅田公園再整備推進経費」を本事業に活用し、次期再整備となる第3期再整備を着実に進めることで、隅田公園を核とした地域への回遊を促し、まちの魅力を向上する。

課題・問題点
隅田公園を核とした地域活性化と向島方面など区北部への回遊性強化の観点から、言問橋以北の未再整備範囲について、地域の声を聞きながら再整備を検討していく必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 3

施 策	132 水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる					
事 業 名	河川施設維持事業費					
主管課	都市整備課	電話番号（内線）	3923			
目 的	「特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例」に基づき、河川管理の一部を区が行うこととなり、区内内部河川の護岸等、河川管理施設の適正な維持管理を行う。					
対 象 者	区民及び来街者					
根拠法令 関連計画	河川法令、特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例・同施行規則 江東内部河川整備計画（東京都）					
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤8	
事業内容	「特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例」に基づく法定受託事務として河川管理の一部（草刈りや清掃等の日常の維持管理、年1回の護岸点検、地震時における護岸点検など）を区で行っている。（対象河川：北十間川、横十間川、旧中川、大横川、竪川、旧綾瀬川） 旧中川は、旧中川水辺公園として管理 大横川、竪川の一部は、親水公園として管理 北十間川の一部は、おしなり公園として管理 【条例受託業務】 ・清掃・樹木剪定・草刈・害虫駆除・施設点検・地震時護岸点検・軽微な補修工事、 ・河川法に基づく手続きの一部（河川占用手続き等）					
経 過	開始年度	平成12年度			終了予定	
	旧河川法時代から機関委任事務として河川の維持管理を行っている。 地方自治法改正により、「特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例」に基づく法定受託事務として引き続き河川管理の一部を行っている。 河川整備の進捗に伴い、横十間川の一部（神明橋から天神橋まで）を「横十間川水辺公園」として、竪川の一部（新竪川橋から竪川橋まで及び西竪川橋から一之橋まで）を「竪川緑道公園」として令和7年4月から区立公園として開園した。					
議会質問 の 状 況	特になし					
そ の 他 特記事項	竪川テラスには、地域振興を目的に周辺住民から寄贈された梅を植樹し区が管理している。（令和7年4月1日現在：寄付本数26本）					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		30,838	35,096	57,490	39,974	71,909	44,997
A. 決算額（令和7年度は見込み）		28,497	32,931	51,006	40,387	63,395	44,997
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		28,497	32,931	51,006	40,387	63,395	44,997
執行率（％）		92.41％	93.83％	88.72％	101.03％	88.16％	100％
B. 人コスト		16,762	16,712	15,540	16,173	17,393	
総事業費（A+B）		45,259	49,643	66,546	56,560	80,788	
予算書P（令和7年度）		P209		執行実績報告書P（令和6年度）		P161	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
役務費	31,209	役務費	29,435	役務費	28,860
委託料	5,192	工事請負費	26,940	工事請負費	7,660
工事請負費	2,791	委託料	5,305	委託料	7,169
需用費	1,056	需用費	1,575	需用費	1,168
原材料費	139	原材料費	140	原材料費	140
概 要		概 要		概 要	
・ 墨田区管内河川管理施設点検等業務委託 ・ 公園等草刈除草清掃委託・ 樹木管理委託		・ 河川管理施設点検等業務委託 ・ 草刈除草清掃委託・ 樹木管理委託 ・ 大横川親水公園未整備区域及び旧さざんか児童遊園周辺環境整備工事		・ 墨田区管内河川管理施設点検等業務委託 ・ 公園等草刈除草清掃委託 ・ 公園等樹木管理委託	

事業成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	河川護岸の草刈回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		3	令和7年度	目標	3	3	3	3
				実績	3.5	3.5	3.5	3.5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	3	3	3	3	3
		実績	3.5	3.5	3.3	3.2	3.3	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		草刈の効果は視覚的にもわかりやすいので、年間3回草刈を行うことを目標値とした。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	「自然環境が良い」と感じる区民の割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		20	令和7年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	15	—	—	20
		実績	—	—	9.4	—	—	
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	適切な河川護岸の維持管理を通じて、自然環境が良いと感じる区民の割合が増加すると考え目標とした。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	東京都の耐震護岸整備工事や低水路護岸整備工事により今後も新規にテラスや管理用通路が整備されるので、河川施設の点検や維持管理を継続的に実施して、適正な維持管理を行っていく。

課題・問題点
護岸整備工事が進捗し、新たなテラスや河川管理用通路が整備されたことから、今まで以上に施設の維持補修を適切かつ確実に遂行する必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 4

施 策	132 水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる					
事 業 名	江東内部河川整備事業費					
主管課	都市整備課				電話番号（内線）	3922
目 的	区内の水辺を十分に活用し、都市生活にうるおいとやすらぎを与える水と緑の骨格軸を整備する。					
対 象 者	区民及び来街者					
根拠法令 関連計画	河川法令、特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例・同施行規則 江東内部河川整備計画（東京都）					
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤3	
事業内容	1 調整業務 東京都施行の耐震護岸整備及び低水路護岸整備に関する連絡調整及び設計・施工協議 2 遊歩道整備工事 東京都施行の耐震護岸整備及び低水路護岸整備後に遊歩道を整備し、水と緑に親しめる空間を創出する。 3 河川テラスの公園化 本事業で整備された親水空間を効率的に管理し、より質の高い水辺空間を利用者に提供するため墨田区公園条例による公園として順次開園する。					
経 過	開始年度	平成24年度			終了予定	令和7年度
	過去3年間の実績 [令和4年度] 横十間川修景施設整備工事（その2）（天神橋～神明橋：右岸） [令和5年度] 横十間川修景施設整備工事（その3）（天神橋～神明橋：右岸） 西十間橋下護岸連続化工事（北十間川西十間橋下：両岸） [令和6年度] 横十間川修景施設設計業務（錦糸橋～天神橋：右岸） 今後の予定 [令和7年度] 横十間川（神明橋から天神橋まで） 区立公園として開園（横十間川水辺公園） 竪川（新竪川橋から竪川橋まで及び西竪川橋から一之橋まで） 区立公園として開園（竪川緑道公園）					
議会質問 の 状 況	[令和元年9月] 新保健施設等複合施設建設計画を反映した河川整備（スロープ整備）について 船着場の整備（門扉、鍵）について 河川の水質改善及び東京都との協力について [令和3年3月] 河川における照明灯の整備について					
そ の 他 特記事項	東京都による横十間川（右岸：錦糸橋から天神橋まで）の護岸整備事業において施行の遅延が生じていることから、当初計画の河川テラスの開放年次が遅れることとなる。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		5,000	13,000	30,430	181,000	5,200	842
A. 決算額（令和7年度は見込み）		4,972	6,212	29,618	173,286	5,038	842
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	146,773	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		4,972	6,212	29,618	26,513	5,038	842
執行率（％）		99.44％	47.78％	97.33％	95.74％	96.88％	100％
B. 人コスト		26,466	26,388	24,537	25,536	27,462	
総事業費（A+B）		31,438	32,600	54,155	198,822	32,500	
予算書P（令和7年度）		P209		執行実績報告書P（令和6年度）		P161	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
工事請負費	173,286	委託料	5,038	工事請負費	842
概 要		概 要		概 要	
西十間橋下護岸連続化工事		北十間川・横十間川修景施設実施設計委託 （北十間川・横十間川合流部及び横十間川（錦糸橋から天神橋まで））		横十間川修景施設整備工事（R7. R8債務） （錦糸橋から天神橋まで）	

事業の成果	手段に対する指標 （活動指標）	指標	遊歩道開放区間（両岸累計）北十間川樋門～西側を除く				単位	m
		最終目標値	目標年度	基準年（H28）	H29	H30	H31	
		6,559	令和7年度	目標	1,764	2,694	3,374	3,899
				実績	1,764	2,694	3,374	3,899
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	4,209	4,519	5,179	5,539	6,019	6,559
		実績	3,899	3,899	4,479	4,504	4,504	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		護岸上の遊歩道を開放することで、親水空間の利用状況を把握することが可能である。						
	目的に対する指標 （成果指標）	指標	「自然環境が良い」と感じる区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度	基準年（H28）	H29	H30	H31	
		20	令和7年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10	—	15	—	—	20
		実績	11.1	—	9.4	—	—	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		水と緑の骨格軸となる河川護岸整備が進捗するにつれ、自然環境が良いと感じる区民の割合が増加すると考え目標とする。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	自然環境が良いと感じられる区民の割合が約1割であることから、区民がうるおいやすらぎを感じられるよう、今後も継続して修景整備を遂行する必要がある。

課題・問題点
東京都の護岸整備進捗状況（錦糸橋から天神橋まで）が遅延することにより、その後に区が行う遊歩道整備及び開放が遅れることとなる。常に東京都の事業進捗状況を把握するとともに、連絡を密にしていく必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 5

施 策	132 水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				
事 業 名	隅田公園再整備推進経費				
主管課	都市整備課	電話番号（内線）	3915		
目 的	これまでの再整備による人の流れや賑わいを、今後の隅田公園の再整備により魅力的な南北動線を創出することで、言問橋以北へ波及させ、隅田公園を核として地域への回遊を促し、まちの魅力を向上する。				
対 象 者	公園を利用する区民及び来街者（公園を日常利用する近隣住民（親子、高齢者など）、公園で開催されるイベントや第1期再整備による新たな賑わいの場に訪れる来街者など）				
根拠法令 関連計画	都市公園法令、墨田区立公園条例・同施行規則、墨田区公園マスタープラン				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤3
事業内容	隅田公園全体の今後の再整備の方向性をまとめた「隅田公園再整備構想」の策定に向け、学識経験者の知見を活かした検討に着手し、地域住民等への意向調査などの結果を踏まえて、再整備構想を策定する。 また、次期再整備に向けた基礎調査を実施し、今後の隅田公園の再整備に寄与していく。				
経 過	開始年度	令和6年度		終了予定	令和6年度
	[令和6年度] 再整備構想策定支援業務委託 次期再整備に向けた基礎調査業務委託 隅田公園再整備構想の策定（令和7年3月）				
議会質問 の 状 況	[令和6年11月決特] 言問橋以北の再整備及び魚つり場について [令和6年11月] 整備構想及び第3期再整備の方向性について				
そ の 他 特記事項	令和6年度まで実施した第2期再整備は、「隅田公園再整備事業費」で実施している。				

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		0	0	0	0	9,000	0
A. 決算額（令和7年度は見込み）		0	0	0	0	8,820	0
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	0	8,820	0
執行率（％）		－％	－％	－％	－％	98％	－％
B. 人コスト		0	0	0	0	10,069	
総事業費（A+B）		0	0	0	0	18,889	
予算書P（令和7年度）		執行実績報告書P（令和6年度）				P165	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
		委託料	8,820		
概 要		概 要		概 要	
		・再整備構想策定支援業務委託 ・次期再整備に向けた基礎調査業務委託			

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	隅田公園再整備構想の策定回数				単位	回
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		1	令和6年度	目標	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	-	-	-	-	1	-
		実績	-	-	-	-	1	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		隅田公園全体の再整備を着実に進めていくためには、隅田公園再整備構想をしっかりと策定することが重要であることから、活動指標とした。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	「公園・遊び場」に満足している区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		53.1	令和7年度	目標	41.5	-	44	-
				実績	41.5	-	42.4	-
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	46	-	48	-	53.1	-
		実績	46.7	-	50.8	-	51.1	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		魅力的な公園づくりを進めることが、公園・遊び場に満足している区民の割合を高めることに繋がるため、住民意識調査における「公園・遊び場」に満足している区民の割合を成果指標とした。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
廃止を検討	再整備構想を策定したことから本事業は廃止し、本構想に基づき再整備事業を進める「隅田公園再整備事業費」に本事業を活用し、次期再整備となる第3期再整備に寄与していく。

課題・問題点
特になし

令和7年度 事務事業評価シート

No. 6

施 策	132 水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる					
事 業 名	公園マスタープラン改定経費					
主管課	都市整備課				電話番号（内線）	3915
目 的	平成7年に30年計画として策定し、平成22年に中間改定した墨田区公園マスタープランについて、社会情勢の変化やニーズの多様化が急速に進んでいることから、これらに対応するため、令和6年度に前倒しで改定する。					
対 象 者	公園・児童遊園を利用する区民及び来街者 （公園を日常利用する近隣住民（親子、高齢者など）、公園で開催されるイベントに訪れる来街者など）					
根拠法令 関連計画	都市公園法令、墨田区立公園条例・同施行規則 墨田区都市計画マスタープラン、第二次墨田区緑の基本計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤3	
事業内容	令和6年度に墨田区公園マスタープランを前倒しで改定した。令和4年度及び令和5年度に改定支援業務委託、利用者アンケート調査、改定検討委員会等を行った。					
	[令和4年度] 改定支援業務委託 改定検討委員会の実施 [令和5年度] 改定支援業務委託 改定検討委員会の実施 パブリック・コメントの実施 [令和6年度] 改定検討委員会の実施 墨田区公園マスタープランの改定					
経 過	開始年度	令和4年度			終了予定	令和6年度
	[令和4年度] 改定支援業務の委託 改定検討委員会の実施（第1回：令和5年1月） 地域産業都市委員会で「改定の方向性」について報告（令和5年3月） [令和5年度] 改定支援業務の委託 改定検討委員会の実施（第2回：令和5年8月、第3回：令和5年10月、第4回：令和5年12月） 公園の在り方調査・災害対策特別委員会の設置（令和5年5月） 特別委員会で「改定作業の進捗等」、「改定案」について報告（令和5年7月、令和6年1、2月） 「改定案」についてパブリックコメントを実施（令和6年2～3月） [令和6年度] 改定検討委員会の実施（第5回：令和6年4月） 特別委員会で「改定」について報告（令和6年4月） 墨田区公園マスタープランの改定（令和6年4月） 墨田区公園マスタープランの印刷製本（令和6年6月）					
議会質問 の 状 況	[令和5年3月] 墨田区公園マスタープランにおけるドッグラン、BBQの位置付けについて アクセス不便地域の解消、ボール遊びができる公園づくりについて こども基本法の施行などを受け、こどもの視点がより重要となることについて [令和5年11月特別] 特別委員会から「公園の在り方に関する提言書」の提出 [令和6年2月特別] 子どもの意見の反映、インクルーシブな公園づくり、復興公園のPRについて					
そ の 他 特記事項	特になし					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		0	0	5,000	7,166	568	0
A. 決算額（令和7年度は見込み）		0	0	4,995	7,065	535	0
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	0	4,995	7,065	535	0
執行率（％）		－％	－％	99.9％	98.59％	94.19％	－％
B. 人コスト		0	0	16,358	17,024	4,577	
総事業費（A+B）		0	0	21,353	24,089	5,112	
予算書P（令和7年度）		執行実績報告書P（令和6年度）				P154	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	6,897	需用費	497		
報酬	168	報酬	38		
概 要		概 要		概 要	
・改定支援業務委託 ・学識経験者報酬		・印刷製本 ・学識経験者報酬			

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	改定検討委員会の実施回数（累計）				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		5	令和6年度	目標	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	-	-	1	4	5	-
		実績	-	-	1	4	5	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		より良い改定とすることを目的とし、学識経験者を交えた改定検討委員会を開催するため、改定検討委員会の実施回数を活動指標とした。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	墨田区公園マスタープランの改定数				単 位	
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		1	令和6年度	目標	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	-	-	0	0	1	-
		実績	-	-	0	0	1	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		公園等の整備・管理に関する羅針盤となる公園マスタープランに基づいた整備や管理を進めることが区民等の生活をより豊かにすることにつながるため、改定数を指標とした。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
廃止を検討	令和6年4月に「墨田区公園マスタープラン」を改定し、改定後に印刷製本を行ったので、本事業を完了とする。

課題・問題点
今後は、改定した「墨田区公園マスタープラン」の施策・取組を推進し、計画期間（令和23年度まで）の中間である令和13年度に中間改定する。 また、「公園マスタープラン推進会議」を開催し、進行状況を確認するとともに、庁内関係部署と情報共有を図る。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 7

施 策	132 水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる					
事 業 名	公園及び児童遊園維持管理費（警備経費）					
主管課	土木管理課	電話番号（内線）	5015			
目 的	都市公園法や墨田区立公園条例等に基づき、路上生活者に対して注意・指導を実施し自立支援への案内を行う。 公園及び児童遊園が適正に維持されている。					
対 象 者	公園及び児童遊園を利用する区民及び来街者					
根拠法令 関連計画	都市公園法令、墨田区立公園条例・同施行規則					
実施基準	法令基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤1、委託先：サンエス警備保障株式会社	
事業内容	路上生活者への注意、指導及び自立支援への誘導に重点をおいた公園警備委託事業を実施する。					
経 過	開始年度	平成17年度			終了予定	
	平成31年4月から令和6年3月まで、堅川第一公園で東京都と23区の共同事業である「ホームレス地域生活移行支援事業」が実施されていた。 また、路上生活者への注意・指導及び自立支援のための相談窓口等の案内に重点をおいた公園警備委託事業を実施している。（平成18年度から、暫定的に土木管理課で事業を実施）					
議会質問 の 状 況	特になし					
そ の 他 特記事項	特になし					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		35,002	34,310	34,273	34,391	34,273	45,187
A. 決算額（令和7年度は見込み）		34,087	34,124	34,087	34,205	34,087	45,187
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		34,087	34,124	34,087	34,205	34,087	45,187
執行率（％）		97.39％	99.46％	99.46％	99.46％	99.46％	100％
B. 人コスト		2,647	2,639	2,454	2,554	2,746	
総事業費（A+B）		36,734	36,763	36,541	36,759	36,833	
予算書P（令和7年度）		P210		執行実績報告書P（令和6年度）		P162	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	34,205	委託料	34,087	委託料	45,187
概 要		概 要		概 要	
公園警備委託		公園警備委託		公園警備委託	

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	パトロール回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		365	令和7年度	目標	365	365	365	366
				実績	365	365	365	366
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	365	365	365	366	365	365
		実績	365	365	365	366	365	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		公園及び児童遊園の維持管理のために実施しているパトロール回数を指標とした。目標値は年間の警備日数（365回または366回）とした。						
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	不正行為等注意件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		8,700	令和7年度	目標	15,000	14,200	13,420	12,640
				実績	14,971	8,775	9,342	8,006
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	11,860	11,080	10,300	9,520	9,000	8,700
		実績	9,212	9,803	12,129	9,338	8,330	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		公園及び児童遊園における不正行為等があった際、公園の適正利用を目的とした注意を行っているため、これを指標とした。なお、目標値は過去の実績数を基に設定した。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区民等から寄せられる陳情について、適切かつスピード感をもって対応する。 また、公園内での不正行為等の防止のため適切な指導を行い、誰もが安心して楽しめる公園施設の維持に努める。

課題・問題点
区民等から、安全かつ快適な公園が求められていることから、今後も費用対効果を勘案しながら公園警備を維持していく必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 8

施 策	132 水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				
事 業 名	土木施設監察指導事務費				
主管課	土木管理課	電話番号（内線）	5015		
目 的	本事業により、区が管理する道路等の土木施設における不正使用が是正され、適正な利用ができています。				
対 象 者	区で管理する土木施設を利用する一般区民及び企業者				
根拠法令 関連計画	道路法令、道路構造令、墨田区道における道路構造の技術的基準等に関する条例・同施行規則、車両制限令、河川法令、特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例、都市公園法令、墨田区立公園条例・同施行規則、東京都屋外広告物条例・同施行規則、墨田区土木施設監察事務処理要綱				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1
事業内容	区が管理する土木施設を適正に管理するため、定期的なパトロールと陳情等に対応した巡回を行い、是正指導をしている。				
経 過	開始年度	昭和50年度		終了予定	
	監察・指導件数（定期パトロール・陳情による指導件数） [令和4年度] 228件 [令和5年度] 263件 [令和6年度] 213件 不定住者対応件数 [令和4年度] 30件 [令和5年度] 25件 [令和6年度] 26件				
議会質問 の 状 況	特になし				
そ の 他 特記事項	特になし				

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		50	45	46	42	38	38
A. 決算額（令和7年度は見込み）		41	40	40	42	37	38
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		41	40	40	42	37	38
執行率（％）		82％	88.89％	86.96％	100％	97.37％	100％
B. 人コスト		7,058	7,037	6,543	6,810	7,323	
総事業費（A+B）		7,099	7,077	6,583	6,852	7,360	
予算書P（令和7年度）		P201		執行実績報告書P（令和6年度）		P153	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
使用料及び賃借料	28	役務費	23	役務費	23
需用費	14	需用費	14	需用費	15
概 要		概 要		概 要	
携帯電話の借上（再リース）等		携帯電話利用料等		携帯電話利用料等	

事業の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	監察指導件数（定期パトロール・陳情による指導件数）				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		140	令和7年度	目標	210	200	190	185
				実績	201	213	237	225
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	175	165	160	155	150	140
		実績	206	217	228	263	213	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		区が管理する道路等の土木施設が適正に利用されるために、監察指導している件数を指標とした。目標値は過去の数値を基に設定した。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	継続是正指導中の案件				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		60	令和7年度	目標	80	75	70	70
				実績	79	107	98	119
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	68	68	65	65	63	60
		実績	127	85	116	143	148	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		区が管理する土木施設の不正使用を是正するために本目標値を設定した。目標値は過去の数値を基に設定した。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	土木施設を適正に管理するため、定期的なパトロールや、陳情等に対応した監察指導を実施している。是正指導を適正に継続しつつ、区民等からの陳情に対しては、素早い対応が必要不可欠であるため、所管警察署並びに国道及び都道管理者と協力して迅速な対応を続けていく。

課題・問題点
昨今、土木施設における不法占用や不法行為が多様化しているとともに、区民から不法占用等に関する是正の要望も高まっていることから、所管警察や東京都等と連携したパトロール・指導を強化する必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 9

施 策	132 水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる					
事 業 名	街路樹及び緑地帯維持管理費					
主管課	道路・橋りょう課				電話番号（内線）	5063
目 的	通行者が安全・快適に通行でき、緑のうるおいとやすらぎを感じられる道路空間を確保するため、道路等の街路樹及び緑地帯を適正に維持管理する。					
対 象 者	区道を通行する車両・歩行者（区民及び来街者）					
根拠法令 関連計画	道路法令、道路構造令、墨田区道における道路構造の技術的基準等に関する条例・同施行規則					
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤3、会計年度任用職員1	
事業内容	街路樹剪定及び緑地帯の手入れ、除草・清掃、害虫駆除等を適宜、適切に実施する。					
経 過	開始年度	平成28年度			終了予定	
	過去3年間の実績 街路樹剪定本数（実績/目標） [令和4年度] 4,354/3,600本 [令和5年度] 3,926/3,600本 [令和6年度] 3,775/3,600本 ※管理本数3,433本（令和7年4月1日現在）					
議会質問 の 状 況	[平成29年11月決特] 視界を妨げている私的植栽の認識について [令和元年11月] 街路樹の台風対策について 街路樹整備の中長期的な方針や計画推進について [令和4年11月決特] ブラタナス等の大木化した樹木の更新について [令和5年11月決特] ブラタナス等の大木化した樹木の更新状況について [令和6年10月決特] 区内倒木による事故等の発生状況について					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		106,734	106,684	109,791	111,623	119,097	119,784
A. 決算額（令和7年度は見込み）		106,508	105,678	105,675	110,188	118,575	119,784
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	106,508	105,678	104,760	103,850	103,390	93,276
一般財源		0	0	915	6,338	15,185	26,508
執行率（％）		99.79％	99.06％	96.25％	98.71％	99.56％	100％
B. 人コスト		4,411	5,278	8,186	9,377	9,163	
総事業費（A+B）		110,919	110,956	113,861	119,565	127,738	
予算書P（令和7年度）		P204		執行実績報告書P（令和6年度）		P156	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
役務費	106,823	役務費	115,748	役務費	116,381
委託料	2,398	委託料	2,663	委託料	2,903
需用費	582	需用費	164	需用費	500
原材料費	385				
概 要		概 要		概 要	
剪定、清掃外		剪定、清掃外		剪定、清掃外	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	街路樹剪定延べ本数				単位	本
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		3,600	令和7年度	目標	3,600	3,600	3,600	3,600
				実績	3,666	3,383	2,909	3,265
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600
		実績	3,663	3,609	4,354	3,926	3,775	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		定期的な剪定や植替え等の維持管理を実施しているため、年間の街路樹剪定本数を目標値とした。						
事業の成果	目的に対する指標 (成果指標)	指標	「緑の豊かさ」を感じる区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		30	令和7年度	目標	25.6	—	26.7	—
				実績	25.6	—	23.5	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	27.8	—	28.9	—	30	30
		実績	27.2	—	28.4	—	32.9	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		街路樹や緑地帯整備だけでなく、剪定等の良好な維持管理を行うことが、緑の豊かさを感じる区民割合を高めることに繋がる。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	街路樹の本数及び緑地帯の面積の大幅な増減はない。 老木、大木化した樹木の更新を進めるとともに、維持管理を行っていく。

課題・問題点
プラタナス等、樹勢が強く夏季・冬季の年2回剪定が必要となる樹種については、剪定の頻度が少ない樹種への変更を進めているが、依然として年2回剪定の樹種が多数あるため、引き続き変更を進めていく必要がある。ハナモモ等花が咲き、実のなる樹種は、落ちた実で汚れた道路面の清掃が生じるため、適時・適切な維持管理が必要となる。街路樹の更新や維持管理に関する計画を作成し、より適切な街路樹の管理を行う必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 10

施 策	132 水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				
事 業 名	公園等新設・再整備事業費				
主管課	公園課	電話番号（内線）	5060		
目 的	公園利用者の多様なニーズに応え、快適で居心地がよく、公園を利活用するすべての人の心や体を健やかにして、まち全体を輝かせる公園とする。				
対 象 者	公園・児童遊園を利活用する区民及び来街者				
根拠法令 関連計画	都市公園法令、墨田区立公園条例・同施行規則、墨田区公園マスタープラン				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤9
事業内容	墨田区公園マスタープランに掲げる施策に基づき、公園の新設・再整備を進める。 〔施策1〕さまざまな人の多様な活動の場となる公園 〔施策2〕水辺、歴史・文化など、すみだらしさを活かした、まちの顔となる公園 〔施策3〕コミュニティを育て、まちににぎわいを生み出す公園 〔施策4〕まちの緑や生きものを育む、環境にやさしい公園 〔施策5〕災害に強い安全・安心なまちづくりに寄与する公園				
経 過	開始年度	平成22年度			終了予定
	令和6年4月 墨田区公園マスタープラン改定 過去3年間の実績 〔令和4年度〕 再整備工事（あずま百樹園（キャンパスコモン）、両国第一児童遊園） 照明灯設置（旧中川水辺公園）、ブロック塀改修（墨田二丁目児童遊園） 基本・実施設計（押上第一児童遊園、横川北児童遊園、銅像堀公園） 実施設計（あずま百樹園） 〔令和5年度〕 再整備工事（なつめ公園、押上第一児童遊園、横川北児童遊園、銅像堀公園） ブロック塀改修（大正民家園・もみじばし児童遊園） 基本・実施設計（東墨田第一公園、横川公園） ドッグラン試験設置（大横川親水公園） 〔令和6年度〕 再整備工事（あずま百樹園、東墨田第一公園） ボール遊び広場整備（ひいらぎ広場） 基本設計（東あずま公園） ドッグラン試験設置（大横川親水公園及び隅田公園） 調査検討等（利用案内看板、クラウド型カメラサービス）				
議会質問 の 状 況	〔令和4年6月〕 公園の機能充実（歴史的特徴の活用、ドッグラン、ボール遊び広場）について 〔令和4年11月〕 錦糸公園の複合遊具の混雑解消について 〔令和4年11月決特〕 インクルーシブ遊具のあり方、利用促進などについて 〔令和6年2月予特〕 ドッグランの試験設置について 〔令和6年2月〕 スケートボードの技術力向上について 〔令和6年6月〕 白鬚公園の噴水について 〔令和6年10月決特〕 ドッグランの試験設置について				
そ の 他 特記事項	大学誘致に伴う周辺整備事業費（あずま百樹園）を含む。 大横川親水公園及び竪川親水公園の再整備は、令和4年度から「親水公園再整備事業」に移行。				

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		166,827	113,911	331,720	472,692	293,241	122,230
A. 決算額（令和7年度は見込み）		157,703	109,266	326,033	472,364	291,849	122,230
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	16,353	62,360	40,148	22,227
	その他	4,448	7,650	0	0	0	0
一般財源		153,255	101,616	309,680	410,004	251,701	100,003
執行率（％）		94.53％	95.92％	98.29％	99.93％	99.53％	100％
B. 人コスト		7,058	12,314	15,540	18,726	23,800	
総事業費（A+B）		164,761	121,580	341,573	491,090	315,649	
予算書P（令和7年度）		211		執行実績報告書P（令和6年度）		165	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
工事請負費	452,902	工事請負費	273,741	工事請負費	92,150
委託料	19,462	委託料	18,030	委託料	30,000
		使用料及び賃借料	78	需用費	50
				使用料及び賃借料	30
概 要		概 要		概 要	
再整備工事（なつめ公園、押上第一児童遊園、横川北児童遊園、銅像堀公園）、基本・実施設計（東墨田第一公園、横川公園）等		再整備工事（あずま百樹園、東墨田第一公園）、ボール遊び広場（ひいらぎ広場）、基本設計（東あずま公園）等		再整備工事（横川公園）、ボール遊び広場（緑町公園）、実施設計（東あずま公園）等	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	新設・再整備公園数（累計）				単位	園
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		24	令和7年度	目標	3	7	9	13
				実績	3	5	7	13
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	16	18	20	22	26	26
		実績	16	18	20	24	26	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		令和6年改訂マスタープランを踏まえた整備数を目標値とした。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	「公園・遊び場」に満足している区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		53.1	令和7年度	目標	41.5	－	44	－
				実績	41.5	－	42.4	－
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	46	－	48	－	53.1	－
		実績	46.7	－	50.8	－	51.1	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		区内公園等の新設や改修工事を行い、魅力的な公園づくりを進めることが、公園・遊び場に満足している区民の割合を高めることに繋がる。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	今後も継続して、老朽化した公園施設の再整備や改修を行っていく。

課題・問題点
平成29年に改正された都市公園法でPark-PFI制度が創設されるなどの民間活力の導入の視点や多種多様な公園の使われ方、区民ニーズの変化は急速に進んでいることから、令和6年度に改定した墨田区公園マスタープランを踏まえた、新たなニーズに応えられる公園整備を着実に進める必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 11

施 策	132 水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				
事 業 名	親水公園再整備事業				
主管課	公園課			電話番号（内線）	5060
目 的	親水公園は、河川が身近にある墨田区を特徴づける公園であり、水と緑のネットワーク形成によるまちの回遊性向上において中心的な役割を担っている。既存の親水施設を生かした改修や水と緑のネットワークの拡充を行い、まちの顔となる公園づくりを進める。				
対 象 者	親水公園を利活用する区民及び来街者				
根拠法令 関連計画	都市公園法令、墨田区立公園条例・同施行規則、墨田区公園マスタープラン				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤6
事業内容	大横川親水公園は、都市における貴重な水と緑のある環境と多種多様な施設が魅力となっている特色ある公園の一つであり、まちの回遊性向上においても中心的な役割を担っていることから、老朽化した施設のリノベーション等により、公園の魅力及び回遊性の向上を図る。 竪川親水公園は、未整備区域の公園整備を進め、ネットワークの拡充を進める。				
経 過	開始年度	令和4年度		終了予定	
	[令和4年度]	大横川親水公園未整備区域及びさざんか児童遊園再整備実施設計 大横川親水公園浄化設備外の実施設計 大横川親水公園再整備に係る民間活力導入に関するサウンディング型市場調査			
	[令和5・6年度]	大横川親水公園未整備区域及びさざんか児童遊園整備工事 大横川親水公園浄化施設操作盤等改修工事			
	[令和6年度]	さざんか児童遊園、ささのは児童遊園、法恩寺橋児童遊園、もみじばし児童遊園、横川橋児童遊園を廃止し、大横川親水公園へ編入 大横川親水公園パレットプラザゾーン外再整備実施設計 大横川親水公園魚つり場の試験運用			
議会質問 の 状 況	[令和4年11月] [令和5年2月予特] [令和5年11月] [令和6年2月予特] [令和6年9月] [令和6年11月] [令和7年2月]	大横川親水公園長崎橋跡から江東橋の間の遊具の設置について 大横川親水公園の北十間川からの取水について 大横川親水公園の今後の管理運営の方向性について 大横川親水公園の魚つり場の試験運用について 江東内部河川テラスによる水と緑のネットワークの拡充について 大横川親水公園の民間活力導入について 水辺公園について			
そ の 他 特記事項	特になし				

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		0	0	20,860	64,500	180,100	282,260
A. 決算額（令和7年度は見込み）		0	0	19,635	64,500	179,483	282,260
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	64,500	87,974	100,000
	その他	0	0	0	0	0	2,178
一般財源		0	0	19,635	0	91,509	180,082
執行率（％）		- ％	- ％	94.13 ％	100 ％	99.66 ％	100 ％
B. 人コスト		0	0	9,815	7,661	12,816	
総事業費（A+B）		0	0	29,450	72,161	192,299	
予算書P（令和7年度）		211		執行実績報告書P（令和6年度）		165	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
工事請負費	64,500	工事請負費	156,820	工事請負費	250,800
		委託料	22,663	委託料	31,460
概 要		概 要		概 要	
【大横川親水公園】 未整備区域及び旧さざんか児童遊園整備 工事（前払金）		【大横川親水公園】 未整備区域及び旧さざんか児童遊園整備 工事（完成払）、浄化施設操作盤等改修 工事、パレットプラザゾーン外再整備実 施設計、魚つり場試験運用支援業務委託 等		【大横川親水公園】 インクルーシブ遊具整備工事、平川橋跡 ～横川橋間遊具等改修工事、船形施設周 辺及び魚つり場改修実施設計委託 等 【堅川親水公園】 測量委託	

事業の 成果	手 段 に 対する指標 （活動指標）	指 標	親水公園内の再整備箇所数（累計）				単 位	箇所
		最終目標値	目標年度	基準年（H28）	H29	H30	H31	
		5	令和7年度	目標				
				実績				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標			0	0	2	5
		実績			0	0	2	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		水と緑に親しみうるおいとやすらぎを実感できる空間として整備する、本事業における親水公園 の再整備箇所を指標とした。						
	目 的 に 対する指標 （成果指標）	指 標	「公園・遊び場」に満足している区民の割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度	基準年（H28）	H29	H30	H31	
		53.1	令和7年度	目標	41.5	－	44	－
				実績	41.5	－	42.4	－
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	46	－	48	－	53.1	－
		実績	46.7	－	50.8	－	51.1	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		親水公園の再整備を行い、魅力的な公園づくりを進めることが、公園・遊び場に満足している区 民の割合を高めることに繋がる。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	水と緑に親しみうるおいとやすらぎを実感できる親水公園の再整備を行っていく。

課題・問題点
令和6年度に改定した墨田区公園マスタープランにおいて、水辺公園を中心とした水と緑のネットワークの拡充が取組の一 つとして掲げられており、ネットワークの形成によるウォーカブルなまちづくりに活かせる公園整備を進める必要がある。民 間活力導入や様々な公園の使い方へ対応する視点を取り入れ、着実に整備を進めていく。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 12

施 策	132 水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる					
事 業 名	区民広場維持管理費					
主管課	公園課	電話番号（内線）	5058			
目 的	誰もが安全・安心に利用でき、水と緑のうるおいやすらぎが実感できる区民広場を維持管理する。					
対 象 者	区民広場を利活用する区民及び来街者					
根拠法令 関連計画	区民広場の設置及び管理に関する要綱、墨田区公園マスタープラン					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤7	
事業内容	区内にある25箇所（令和7年4月1日時点）の区民広場を安全で快適に利用できる環境としていくため、清掃・除草・樹木剪定・害虫駆除・施設改修を適宜実施する。					
経 過	開始年度	昭和56年度			終了予定	
	近年の開設状況 [平成30年4月] ひいらぎ広場 492.14㎡ 長浦いきいき広場 437.65㎡ [令和2年4月] いちご広場 264.09㎡ 曳舟やすらぎ広場 326.34㎡ [令和4年4月] 向島一丁目広場 184.80㎡ [令和6年9月] 吾妻橋二丁目広場 354.92㎡ [令和7年4月] 立川二丁目緑地広場・千歳二丁目緑地廃止（竪川緑道公園へ編入）					
議会質問 の 状 況	特になし					
そ の 他 特記事項	特になし					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		7,888	9,101	14,734	12,599	15,560	15,454
A. 決算額（令和7年度は見込み）		7,193	8,290	10,355	9,998	11,312	15,454
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		7,193	8,290	10,355	9,998	11,312	15,454
執行率（％）		91.19％	91.09％	70.28％	79.36％	72.7％	100％
B. 人コスト		12,351	12,314	9,279	11,390	14,646	
総事業費（A+B）		19,544	20,604	19,634	21,388	25,958	
予算書P（令和7年度）		210		執行実績報告書P（令和6年度）		162	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
役務費	4,842	役務費	5,479	役務費	6,000
工事請負費	1,767	工事請負費	1,978	工事請負費	4,691
委託料	1,424	委託料	1,830	委託料	2,562
需用費	1,086	需用費	1,145	需用費	1,313
使用料及び賃借料	624	使用料及び賃借料	625	使用料及び賃借料	625
概 要		概 要		概 要	
光熱水費、草刈除草清掃費、施設管理委託料、施設補修工事費 等		光熱水費、草刈除草清掃費、施設管理委託料、施設補修工事費 等		光熱水費、草刈除草清掃費、施設管理委託料、施設補修工事費 等	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	区民広場の平均清掃回数（1広場当たり）				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		78	令和 7 年度	目標	78	78	78	78
				実績	66	66	57	57
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	78	78	78	78	78	78
		実績	57	57	69	69	65	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		清掃の効果は視覚的にもわかりやすいので、委託により平均週1.5回清掃（落ち葉シーズンの清掃を含む）することを目標値とした。また、このほか愛護活動等による清掃活動も行われている。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	「公園・遊び場」に満足している区民の割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		53.1	令和 7 年度	目標	41.5	－	44	－
				実績	41.5	－	42.4	－
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	46	－	48	－	53.1	－
		実績	46.7	－	50.8	－	51.1	
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	区民広場の清掃・除草等を行い、快適な利用環境をつくりだすことが、公園・遊び場に満足している区民の割合を高めることにつながる。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	公園と同様に都市での貴重な遊び場や憩いの場であり、継続した維持管理が必要である。

課題・問題点
区民広場については、多種多様な目的で使用されることが増えてきており、公園と同様に適切に維持管理していく必要がある。 また、限られた予算の中で愛護活動団体やボランティア活動団体等を更に増やし清掃等を充実させるとともに、維持管理コストの低減も図っていく。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 13

施 策	132 水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる					
事 業 名	公園及び児童遊園維持管理費					
主管課	公園課	電話番号（内線）	5059			
目 的	誰もが安全・安心に利用でき、水と緑のうるおいやすらぎが実感できる公園・児童遊園を維持管理する。					
対 象 者	公園・児童遊園を利用する区民及び来街者 （公園を日常利用する近隣住民（親子、高齢者など）、公園で開催されるイベントに訪れる来街者など）					
根拠法令 関連計画	都市公園法令、墨田区立公園条例・同施行規則、墨田区公園マスタープラン					
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤7	
事業内容	区内にある135か所の公園・児童遊園（令和7年4月1日時点・大横川親水公園と竪川親水公園は親水公園を除く。）において、清掃、除草・草刈、樹木剪定、施設の点検・補修等を適宜実施する。					
経 過	開始年度					終了予定
	近年の開設状況等 〔令和6年4月〕 さざんか児童遊園、ささのは児童遊園、法恩寺橋児童遊園、もみじばし児童遊園、横川橋児童遊園を廃止（大横川親水公園へ編入） 〔令和7年4月〕 横十間川水辺公園及び竪川緑道公園を新設 緑児童遊園を廃止（竪川緑道公園へ編入） 隅田公園の一部に指定管理者制度を導入 区内の72か所（うち6か所は休止中）の公園等は、町会との公園愛護協定を締結し、区民による公園清掃等が行われている。					
議会質問 の 状 況	〔令和4年9月〕 公園管理に指定管理者制度を導入した際の、区内中小企業の受注機会確保について 〔令和4年11月決特〕 錦糸公園等人気のある遊具の混雑緩和対策 （公園遊具の分散配置や、ホームページでの公園施設の情報提供）について 〔令和5年2月〕 公園愛護団体の支援について 〔令和6年10月決特〕 公園の清掃、草刈、花壇管理について、公園のネズミ対策について 公園愛護団体、ボランティア活動の支援について 隅田公園の指定管理について					
そ の 他 特記事項	特になし					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		540,554	576,834	615,275	636,003	711,865	893,233
A. 決算額（令和7年度は見込み）		521,011	547,755	545,820	639,074	691,463	893,233
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	69,165	69,533	82,206	74,131	76,698	75,801
一般財源		451,846	478,222	463,614	564,943	614,765	817,432
執行率（％）		96.38％	94.96％	88.71％	100.48％	97.13％	100％
B. 人コスト		12,351	12,314	9,279	11,390	14,646	
総事業費（A+B）		533,362	560,069	555,099	650,464	706,109	
予算書P（令和7年度）		210		執行実績報告書P（令和6年度）		162	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
役務費	442,652	役務費	501,702	役務費	513,690
工事請負費	76,647	工事請負費	62,875	委託料	151,879
委託料	50,656	委託料	54,053	工事請負費	131,176
需用費	40,070	需用費	42,589	需用費	47,677
使用料及び賃借料	23,806	使用料及び賃借料	24,748	使用料及び賃借料	43,278
概 要		概 要		概 要	
光熱水費、草刈除草清掃費、施設管理委託料、施設補修工事費 等		光熱水費、草刈除草清掃費、施設管理委託料、施設補修工事費 等		光熱水費、草刈除草清掃費、施設管理委託料（指定管理料含む）、施設補修工事費、花火大会侵入防止柵設置工事、園内灯リース料 等	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	区立公園・児童遊園の平均清掃回数（1公園当たり）				単位	回
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		104	令和7年度	目標	104	104	104	104
				実績	90	90	90	90
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	104	104	104	104	104	104
		実績	90	90	90	90	89	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		清掃の効果は視覚的にもわかりやすいので、委託により週2回清掃することを目標値とした。また、このほかに愛護活動等による清掃も行われている。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	「公園・遊び場」に満足している区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		53.1	令和7年度	目標	41.5	-	44	-
				実績	41.5	-	42.4	-
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	46	-	48	-	53.1	-
		実績	46.7	-	50.8	-	51.1	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		公園・児童遊園の清掃・除草等を行い、快適な利用環境をつくりだすことが、公園・遊び場に満足している区民の割合を高めることに繋がる。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	公園は都市での貴重な遊び場や憩いの場であることから継続した維持管理が必要である。利用者ニーズの多様化により、これまでどおりの維持管理では良好な維持管理が難しくなっており、民間活力の導入や包括管理による業務の効率化など、管理方法の見直し・改善が必要である。

課題・問題点
利用者ニーズが多様化する中で、限られた維持管理予算や人員で公園利用者の満足度を高めていくためには、これまでも増して愛護団体やボランティア団体との連携や民間活力の導入などが必要になってくる。 芝生の管理については、多くの維持管理コストがかかるほか、養生期間中は芝生の利用ができないため、養生範囲等の工夫が必要である。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 14

施 策	132 水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる					
事 業 名	親水公園維持管理費					
主管課	公園課	電話番号（内線）	5058			
目 的	だれもが安全・安心に利用でき、水と緑のうるおいやすらぎが実感できる親水公園を維持管理する。					
対 象 者	親水公園を利活用する区民及び来街者					
根拠法令 関連計画	都市公園法令、墨田区立公園条例・同施行規則、墨田区公園マスタープラン					
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤7	
事業内容	大横川親水公園及び竪川親水公園において、清掃、除草・草刈、樹木剪定、施設の点検・補修等を適宜実施する。					
経 過	開始年度	平成5年度			終了予定	
	大横川親水公園 〔昭和56年度〕 整備工事開始 〔昭和58年度〕 工事が完了した区間を先行開放（区間：北十間川～平川橋） その後、工事完了区間から順次部分開放 〔平成5年度〕 開園（区間：北十間川～撞木橋跡） （未整備区間：撞木橋跡～竪川間） 〔令和6年度〕 さざんか児童遊園、ささのは児童遊園、法恩寺橋児童遊園、もみじばし児童遊園、横川橋児童遊園を廃止し、大横川親水公園へ編入 開園（撞木橋跡～竪川間） 竪川親水公園 〔昭和63年度〕 整備工事開始 〔平成5年度〕 開園（区間：牡丹橋～松本橋） 〔平成6年度〕 開放（区間：新辻橋～牡丹橋） （未整備区間：新辻橋～大横川合流点、四之橋付近）					
議会質問 の 状 況	〔平成30年9月〕 大横川親水公園の照度について					
そ の 他 特記事項	「竪川親水公園の維持管理に関する協定書」に基づく費用負担：墨田区（48/100）、江東区（52/100）					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		157,997	163,301	148,451	168,251	187,857	204,460
A. 決算額（令和7年度は見込み）		138,185	148,336	131,224	162,852	173,818	204,460
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	1,598	1,224	1,366	1,924	2,708	4,121
一般財源		136,587	147,112	129,858	160,928	171,110	200,339
執行率（％）		87.46％	90.84％	88.4％	96.79％	92.53％	100％
B. 人コスト		12,351	12,314	9,279	11,390	14,646	
総事業費（A+B）		150,536	160,650	140,503	174,242	188,464	
予算書P（令和7年度）		210		執行実績報告書P（令和6年度）		162	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
役務費	103,839	役務費	103,719	役務費	119,743
委託料	25,220	工事請負費	30,043	工事請負費	40,750
工事請負費	20,949	委託料	26,792	委託料	28,748
需用費	12,055	需用費	12,466	需用費	14,376
原材料費	789	原材料費	798	原材料費	843
概 要		概 要		概 要	
光熱水費、草刈除草清掃費、施設管理委託料、施設補修工事費 等		光熱水費、草刈除草清掃費、施設管理委託料、施設補修工事費 等		光熱水費、草刈除草清掃費、施設管理委託料、施設補修工事費 等	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	親水公園の平均清掃回数（1公園当たり）				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		117	令和 7 年度	目標	117	117	117	117
				実績	105	109	109	110
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	117	117	117	117	117	117
		実績	110	110	110	110	110	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		清掃の効果は視覚的にもわかりやすいので、委託により週2回の清掃と落ち葉シーズンの清掃を合わせた清掃回数を目標値とした。また、このほかに愛護活動等による清掃も行われている。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	「公園・遊び場」に満足している区民の割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		53.1	令和 7 年度	目標	41.5	－	44	－
				実績	41.5	－	42.4	－
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	46	－	48	－	53.1	－
		実績	46.7	－	50.8	－	51.1	
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	親水公園の清掃・除草等を行い、快適な利用環境をつくりだすことが、公園・遊び場に満足している区民の割合を高めることに繋がる。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	親水公園は、施設の老朽化が進んでいるが、区立公園の中でも親水公園は、特に水と緑に触れ合える特色を持った公園であり、利用者が満足するような維持管理を継続する必要がある。利用者ニーズの多様化により、民間活力の導入や包括管理による業務の効率化など、管理方法の見直し・改善が必要である。

課題・問題点
利用者ニーズが多様化する中で、限られた維持管理予算や人員で公園利用者の満足度を高めていくためには、これまでも増して愛護団体やボランティア団体との連携や民間活力の導入などが必要になってくる。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 15

施 策	132 水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				
事 業 名	緑と花のまちづくり推進事業費				
主管課	環境保全課			電話番号（内線）	5465
目 的	区民・事業者・区等の連携により、身近に感じられる緑を増やし、日々の暮らしにやすらぎとうるおいを感じられる空間を創造する。				
対 象 者	区内の景観美化、緑化に意欲的な町会及び自治会等				
根拠法令 関連計画	第二次すみだ環境の共創プラン 第二次墨田区緑の基本計画				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1、会計年度任用職員1
事業内容	町会や自治会を対象に、「緑と花のまちづくり推進地域」を選定し、視覚的効果のある場所にプランター等を設置して、緑と花のサポーターの協力を得て、区が助成する花苗、土、肥料などを使い、地域住民が植栽の維持管理を行い、うるおいのあるまちづくりを推進する。				
経 過	開始年度	平成22年度			終了予定
	【実施地域及び開始年度】 ・平成22年度：十間橋通り、丸井錦糸町店（平成29年度プランター全面撤去）、新竪川 ・平成23年度：プリメール柳島、鐘ヶ淵通り、押上二丁目町会（平成30年度プランター全面撤去） ・平成24年度：おしなり商店街、本所吾妻橋商店街、北十間川 ・平成25年度：向島一丁目町会、小梅一丁目町会 ・平成29年度：曳舟西ビューハイツ、京島二丁目町会、京島南町会、京島三丁目北町会、京島三丁目中央町会、京島三丁目中央町会、京島三丁目東町会、立川一丁目町会 ・令和元年度：業平三丁目町会 ・令和2年度：たもんじ交流農園、八広はなみずき高齢者支援センター、菊川二丁目町会 ・令和3年度：墨田聖書教会、隅田中央町会、すみだ晴山苑 ・令和5年度：さんいくハイツ東墨田、はなみずきホーム ・令和6年度：さんいくハイツ東あずま、吾妻橋二丁目町会 ・令和6年度3月末：27地域 33か所				
議会質問 の 状 況	特になし				
そ の 他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 年に2回（4月、11月）区民から参加者を募り、東京スカイツリー周辺地域の花の植替え講習会を実施し、北十間川及びおしなり商店街に設置しているハングングバスケットと、プランターを作成している。				

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		4,554	8,668	7,926	8,834	8,711	5,880
A. 決算額（令和7年度は見込み）		3,335	8,561	7,811	8,637	8,247	5,880
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		3,335	8,561	7,811	8,637	8,247	5,880
執行率（％）		73.23％	98.77％	98.55％	97.77％	94.67％	100％
B. 人コスト		4,440	5,278	6,651	8,811	11,143	
総事業費（A+B）		7,775	13,839	14,462	17,448	19,390	
予算書P（令和7年度）		P129 6		執行実績報告書P（令和6年度）		P70 7	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	4,886	委託料	4,762	需用費	3,459
需用費	3,323	需用費	3,176	委託料	1,856
報酬	398	報酬	267	報酬	427
報償費	30	報償費	25	役務費	107
役務費	7	役務費	16	報償費	30
概 要		概 要		概 要	
報酬：会計年度任用職員 報償費：講師謝礼 需用費：花苗等 委託料：北十間川ハンギングバスケット 維持管理（886千円） 千葉大学共同研究（4,000千円）		報酬：会計年度任用職員 報償費：講師謝礼 需用費：花苗等 委託料：北十間川ハンギングバスケット 維持管理（1,762千円） 千葉大学共同研究（3,000千円）		報酬：会計年度任用職員 報償費：講師謝礼 需用費：花苗等 委託料：北十間川ハンギングバスケット 維持管理（1,856千円）	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	プランター、花壇、ハンギングバスケット数				単 位	基
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		460	令和 7 年度	目標	400	420	425	430
				実績	412	420	430	442
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	435	440	445	450	455	460
		実績	460	501	499	506	516	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	「緑と花のまちづくり推進地域事業」実施地域				単 位	地域
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		21	令和 7 年度	目標	11	12	13	14
				実績	11	17	16	17
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	16	17	18	19	20	21
		実績	20	23	23	25	27	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		地域数は、本事業を利用してどの程度、地域のみなさんがうるおいやすらぎを創出する活動をしているかの目安となるため						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	新規事業地域を増やすため、関係機関と情報共有を図っていく。

課題・問題点
近年の猛暑の影響で植栽管理に弊害が生じている。また、ボランティア及び参加者の高齢化により今後の活動が縮小していく可能性がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 16

施 策	132 水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる					
事 業 名	緑と花の学習園及び緑の救急隊運営費					
主管課	環境保全課	電話番号（内線）	5465			
目 的	区民に対する緑化啓発					
対 象 者	一般区民。緑を身近に感じたい、安らぎを求める区民。					
根拠法令 関連計画	墨田区の緑化推進に関する要綱第2条 緑の救急隊設置要綱 第二次墨田区緑の基本計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤1、会計年度任用職員1、委託先：シルバー人材	
事業内容	緑化啓発を目的とする学習園の管理運営のほか、緑化相談、民有地における植物の適正管理に関する現地指導。					
経 過	開始年度	昭和56年度			終了予定	
	昭和47年3月28日 緑化宣言 昭和50年4月1日 緑の救急隊設置要綱適用（昭和49年5月制定） 昭和56年4月1日 緑と花の学習園開園 令和6年度・7年度 千葉大学共同研究「緑と花の学習園あり方検討」					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		11,727	11,619	11,164	11,086	12,211	15,497
A. 決算額（令和7年度は見込み）		10,754	10,874	10,631	10,435	11,849	15,497
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		10,754	10,874	10,631	10,435	11,849	15,497
執行率（％）		91.7％	93.59％	95.23％	94.13％	97.04％	100％
B. 人コスト		7,203	9,676	2,477	5,247	3,707	
総事業費（A+B）		17,957	20,550	13,108	15,682	15,556	
予算書P（令和7年度）		P129 1		執行実績報告書P（令和6年度）		P69 1	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和５年度（決算）		令和６年度（決算）		令和７年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
報酬	3,416	報酬	3,483	委託料	5,452
委託料	2,216	職員手当等	2,840	報酬	3,538
給料	2,158	給料	2,231	職員手当等	2,842
職員手当等	1,675	委託料	2,182	給料	2,231
需用費	612	役務費	558	需用費	682
概 要		概 要		概 要	
報酬：会計年度任用職員 給料：会計年度任用職員 職員手当等：会計年度任用職員 需用費：消耗品の購入等 役務費：高木剪定等 委託料：管理業務委託		報酬：会計年度任用職員 給料：会計年度任用職員 職員手当等：会計年度任用職員 需用費：消耗品の購入等 役務費：高木剪定等 委託料：管理業務委託		報酬：会計年度任用職員 給料：会計年度任用職員 職員手当等：会計年度任用職員 役務費：高木剪定等 委託料：管理業務委託(2,452) 千葉大学共同研究(3,000)	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	緑化講習会等の参加者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		170	令和 7 年度	目標	—	1, 450	1, 460	1, 470
				実績	1, 404	1, 053	880	691
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1, 480	1, 490	170	170	170	170
		実績	34	79	134	345	356	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
	緑化講習会を緑と花の学習園等で開催することで、緑化の推進・啓発を図り新たな緑を増やすことに繋げるため。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	緑と花の学習園来園者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		9, 300	令和 7 年度	目標	—	10, 700	10, 750	10, 800
				実績	10, 630	9, 606	9, 393	9, 303
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10, 850	10, 900	9, 300	9, 300	9, 300	9, 300
実績		8, 170	9, 132	9, 371	7, 784	7, 872		
指標の選定理由及び目標値の理由								
緑化相談を通じて既存の緑（植物）を適正に維持管理するための知識・手段を提供し、新たな緑を創出する意識を向上させるため。目標値については、平均来園者数から再設定をした。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区民や千葉大学等の知見を活用しながら、学習機能の強化をはじめとした総合的な見直しを行い、区民が植物（緑）について気軽に学び、実践できるようにするという観点から、あり方を検討していく。

課題・問題点
(1) 開園から４０年以上が経過しているが、園の機能等について総合的な見直しが行われていない。 (2) 見通しが悪く外から園内の様子が伺いづらい。 (3) 事務室等の施設の老朽化や成長した樹木同士の競合による樹木の衰弱 (4) 狭小な園内では講習会の実施場所が確保できず、緑（植物）を学ぶ場所としての機能が弱い。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 17

施 策	132 水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる					
事 業 名	緑化推進事業費					
主管課	環境保全課	電話番号（内線）	5465			
目 的	緑化を推進するための啓発事業を実施することで、区民が緑に親しむ機会を増やし、緑の満足度を向上させる。					
対 象 者	広く一般区民					
根拠法令 関連計画	墨田区の緑化の推進に関する要綱第2条 第二次墨田区緑の基本計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤:3	
事業内容	緑化啓発を目的とした、各種緑化講習会等を実施している。 集合住宅及び大規模建築物への緑地整備について指導している。					
経 過	開始年度	昭和50年度			終了予定	
	平成15年度 開発指導要綱に基づく屋上等緑化指導開始 平成20年度 集合住宅条例に基づく屋上等緑化指導開始 大規模開発時や集合住宅の建設時に屋上等緑化の設置を指導している 令和3年4月1日 緑の愛護に関する規程の改正 緑の推進会議の設置					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	令和7年度より、みどりの補助金事業の予算を緑化推進事業費に統合した。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		536	536	511	802	698	2,620
A. 決算額（令和7年度は見込み）		295	296	291	496	559	2,620
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		295	296	291	496	559	2,620
執行率（％）		55.04％	55.22％	56.95％	61.85％	80.09％	100％
B. 人コスト		0	6,157	6,571	9,133	9,154	
総事業費（A+B）		295	6,453	6,862	9,629	9,713	
予算書P（令和7年度）		P129 4		執行実績報告書P（令和6年度）		P69 5	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
需用費	263	需用費	206	負担金補助及び交付金	1,240
報償費	114	委託料	176	需用費	735
委託料	64	報償費	112	委託料	468
負担金補助及び交付金	40	負担金補助及び交付金	40	報償費	112
使用料及び賃借料	15	使用料及び賃借料	15	使用料及び賃借料	36
概 要		概 要		概 要	
報償費：講師謝礼 旅費：担当者会議等出張 需用費：講習会材料等 委託料：会場設営等 負担金、補助及び交付金：すみだまつり 出展料		報償費：講師謝礼 旅費：担当者会議等出張 需用費：講習会材料等 委託料：会場設営等 負担金、補助及び交付金：すみだまつり 出展料		報償費：講師謝礼 旅費：担当者会議等出張 需用費：講習会材料等 委託料：会場設営等 負担金、補助及び交付金：すみだまつり 出展料、特別保全樹木等みどりの補助金	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	緑化講習会等の参加者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		170	令和7年度	目標	—	1,450	1,460	1,470
				実績	1,404	1,053	880	691
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,480	1,490	170	170	170	170
		実績	34	79	134	345	356	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		緑化講習会等を緑と花の学習園等で開催することで、緑化の推進・啓発を図り新たな緑を増やすことに繋がるため。						
事業の成果	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	住民意識調査「緑の豊さ」「やや良い・良い」回答割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		29.11	令和7年度	目標	—	25.99	26.38	26.81
				実績	25.6	25.6	23.5	23.5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	27.2	27.59	27.98	28.37	28.76	29.11
		実績	27.2	27.2	28.5	28.5	33	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		身近に感じられる緑にふれる機会の充実度を指標として、日々の暮らしにうるおいを感じられるように、緑の満足度を向上させる。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	緑の満足度の向上に向けて、緑化の諸施策をさらに推進していく。

課題・問題点
【緑化講習会開催場所】土を使用するケースが多いが、施設側が汚損等の理由から緑化講習会による利用制限があり、会場確保が課題になりつつある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 18

施 策	132 水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる					
事 業 名	森林整備体験事業費					
主管課	環境保全課	電話番号（内線）	5466			
目 的	環境学習の促進					
対 象 者	小学生以上の区民					
根拠法令 関連計画	第二次すみだ環境の共創プラン、第二次墨田区緑の基本計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1・委託先：有限会社高見林業	
事業内容	6月初旬：植林体験 8月初旬：林業機械操縦体験 10月下旬：間伐体験					
経 過	開始年度	平成23年度			終了予定	
	【平成19年度】間伐体験を試行実施（山梨県山梨市ライオン山梨の森） 【平成20年～22年度】植林・下草刈り・間伐体験実施（山梨県山梨市ライオン山梨の森） 【平成23年度～】植林・間伐体験の会場変更（栃木県鹿沼市） 【平成28年度～】林業機械操縦体験					
議会質問 の 状 況	平成29年決特・令和2年予特 実施回数を増やす検討					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		0	378	370	276	276	960
A. 決算額（令和7年度は見込み）		0	111	261	265	269	960
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	111	261	265	269	960
執行率（％）		－％	29.37％	70.54％	96.01％	97.46％	100％
B. 人コスト		1,764	4,398	2,454	1,702	1,831	
総事業費（A+B）		1,764	4,509	2,715	1,967	2,100	
予算書P（令和7年度）		P129 5		執行実績報告書P（令和6年度）		P70 6	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	200	委託料	200	委託料	882
使用料及び賃借料	49	使用料及び賃借料	57	使用料及び賃借料	59
旅費	9	旅費	10	旅費	11
需用費	5	役務費	2	需用費	5
役務費	2			役務費	3
概 要		概 要		概 要	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	森林整備体験開催数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		3	令和7年度	目標	—	3	3	3
				実績	3	3	3	3
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	3	3	3	3	3
		実績	0	1	3	3	3	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		区内では経験することができない、植林・間伐作業、林業機械の操縦体験や、森林の役割を学ぶ機会を提供する。体験作業の実施に適した季節に限られることから、目標値の増加は困難である。						
事業の成果	目的に対する指標 (成果指標)	指標	森林整備体験参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		45	令和7年度	目標	—	45	45	45
				実績	43	41	35	50
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	45	45	45	45	45	45
		実績	0	10	30	35	25	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		森林の役割、地球温暖化等に対して、どの程度関心を持っているのか知ることができるため。体験時の安全確保のため、1回あたりの参加者数が制限されるため。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	環境学習の機会を引き続き提供していく。多くの区民に体験していただき、その学習成果を生かせる仕組みを構築していく。

課題・問題点
実施回数の増要望があるが、実施できる季節や交通の制約（大型バスの通行が難しい）があるため難しい状況にある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 19

施 策	132 水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる					
事 業 名	緑と花のサポーター制度経費					
主管課	環境保全課	電話番号（内線）	5464			
目 的	公募した「緑と花のサポーター」が「緑と花の学習園」を活動拠点として、「まちなか緑化」などの植物の手入れや、区が主催するイベント・緑化講習会にボランティアとして参加することで、区民の緑化に対する意識の向上、緑化に関心のある人のネットワークの拡大につなげていく。					
対 象 者	緑に関心のある区民					
根拠法令 関連計画	第二次すみだ環境の共創プラン 第二次墨田区緑の基本計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	会計年度任用職員 1	
事業内容	「緑と花の学習園」「緑と花のまちづくり推進地域」などの維持管理や、緑化推進のための啓発事業等のサポート。また、植物の維持管理に必要な知識と経験を身に付けてもらうための研修会等を開催する。これにより緑を愛する区民を増やしていく。					
経 過	開始年度	平成14年度			終了予定	
	平成12年度から区民ボランティアの参加により、公的未事業化用地（空き地）の除草作業を実施してきた。平成14年4月1日、その参加者が他の公共緑地にも活動の場を広げたいということから、本制度を創設した。（発会式平成14年5月15日） 平成30年度、令和4年度、令和6年度、新規登録者を増やすため、若年層向け「緑化ボランティア体験」開催（名称：園芸・ガーデニング体験）					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		277	276	274	273	321	294
A. 決算額（令和7年度は見込み）		221	202	236	210	263	294
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		221	202	236	210	263	294
執行率（％）		79.78％	73.19％	86.13％	76.92％	81.93％	100％
B. 人コスト		882	6,157	841	991	1,608	
総事業費（A+B）		1,103	6,359	1,077	1,201	1,871	
予算書P（令和7年度）		P129 3		執行実績報告書P（令和6年度）		P69 4	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
報償費	40	報償費	40	需用費	250
使用料及び賃借料	8	使用料及び賃借料	29	報償費	30
				使用料及び賃借料	12
				役務費	2
概 要		概 要		概 要	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	緑と花のサポーター登録者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		55	令和7年度	目標	—	50	50	50
				実績	47	47	48	47
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	55	55	55	55	55	55
		実績	46	46	46	46	41	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		安定したサポーター活動を行うため、登録人数を目標とした。健康状態や高齢、家庭環境の変化に伴い、活動をやめる方もいるので、安定した登録者数を確保することが必要である。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	緑と花のサポーター実働数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		40	令和7年度	目標	—	35	35	35
				実績	31	30	30	30
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	40	40	40	40	40	40
		実績	29	30	30	31	31	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		ボランティア活動を継続的かつ安定して行うため、活動状況（登録者のうち実際に活動（1回以上／年度）した人数）を指標とする。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	幅広い年齢層の新規ボランティアの募集と、リーダー的な役割を担うボランティアの育成を図り、花と緑に関する更なる活動の場や内容を検討・実施する。

課題・問題点
サポーター活動で得た技術や知識の共有を図りつつ、活動を拡大していくためサポーターとの連携を強化していく。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 20

施 策	132 水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる					
事 業 名	屋上緑化・壁面緑化推進費					
主管課	環境保全課				電話番号（内線）	5466
目 的	みどり率及び緑の満足度の向上やヒートアイランド現象の緩和を目指し、民間建築物、公共施設の屋上緑化及び壁面緑化の推進を図る。					
対 象 者	区内の民間建築物及び公共施設					
根拠法令 関連計画	第二次すみだ環境の共創プラン、第二次墨田区緑の基本計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2	
事業内容	・学校の環境施設維持管理支援 ・庁舎壁面緑化見本コーナー					
経 過	開始年度	平成9年度			終了予定	
	昭和50年頃より苗木の無料配布時にツル性植物も取り入れる。 平成9年度 区有施設及び民間施設の立体緑化モデル事業再開 平成14年度 庁舎屋上緑化見本コーナー開設（庁舎大規模改修工事に伴い、平成26年7月撤去） 平成28年度 学校の環境施設維持補修計画策定（令和3年度計画終了。点検結果に基づき、適宜対応に変更） 令和4年度 屋上緑化補修工事（文花中学校）※千葉大学との共同研究により実施					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	令和7年度から緑のカーテンモデル設置支援を「緑化推進事業費」に整理統合 学校の環境施設維持管理支援経費のみ計上					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		777	777	696	815	1,426	300
A. 決算額（令和7年度は見込み）		619	565	559	447	760	300
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		619	565	559	447	760	300
執行率（％）		79.67％	72.72％	80.32％	54.85％	53.3％	100％
B. 人コスト		0	0	0	7,430	7,971	
総事業費（A+B）		619	565	559	7,877	8,731	
予算書P（令和7年度）		P129 2		執行実績報告書P（令和6年度）		P69 3	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和５年度（決算）		令和６年度（決算）		令和７年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
需用費	347	需用費	436	委託料	300
委託料	100	委託料	280		
		役務費	44		
概 要		概 要		概 要	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	学校の屋上・壁面緑化の整備件数				単位	件
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		1	令和７年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	—	—	—	1
		実績	—	—	—	—	—	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		学校の屋上・壁面緑化の整備を支援することにより、公共施設に良好な緑化が確保されるため。（事業内容の整理に伴い、令和７年度から新設）						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	学校の屋上・壁面緑化の整備面積				単位	m ²
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
			令和７年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	—	—	—	30
		実績	—	—	—	—	—	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		整備された屋上・壁面緑化の面積に応じて、区民の緑の満足度の向上につながるため。（事業内容の整理に伴い、令和７年度から新設）						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	地上部に緑地の設置が難しい本区の土地利用の現状で、屋上・壁面緑化の整備により緑の満足度の向上を図ることは、有効な緑化推進策であるため。

課題・問題点
屋上緑化、壁面緑化の普及をはかり、その効果（緑の満足度の向上・ヒートアイランド現象の緩和）についてPRする必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 21

施 策	132 水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				
事 業 名	みどりの補助金事業費				
主管課	環境保全課	電話番号（内線）	5466		
目 的	新たに緑のへいを設置する区民や屋上又は壁面を新たに緑化する区民に対して助成を行い、緑の満足度の向上や防災、ヒートアイランド現象の緩和に寄与する。一定の条件を満たす樹木や生け垣を特別保全樹木に指定して、その所有者や管理者に対して助成を行い、自然環境の保全を図る。				
対 象 者	個人、中小企業者、学校法人、社会福祉法人、医療法人、宗教法人、住宅管理組合、町会、自治会				
根拠法令 関連計画	墨田区みどりの補助金交付要綱、第二次すみだ環境の共創プラン、第二次墨田区緑の基本計画				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1
事業内容	墨田区内に新たに緑のへい、屋上等緑化、壁面緑化をしようとする者に、その経費の一部を助成する。特別保全樹木等の剪定等維持管理又は樹木診断等を行った者に、その経費の一部を助成する。				
経 過	開始年度	昭和48年度		終了予定	
	昭和48年4月1日	「緑のへい設置奨励金交付実施細目」制定。			
	平成元年4月1日	植樹帯の補助新設。「緑のへい等設置奨励金等交付実施細目」に改める。			
	平成3年4月1日	「緑のへい等設置補助金等交付要綱」制定。実施細目は廃止。			
	平成14年4月1日	「緑のへい等設置補助金等交付要綱」改正。補助金額に上限を設ける。			
	平成15年1月14日	「屋上緑化整備補助制度」開始。			
	平成21年4月1日	「特別保全樹木補助事業」開始。			
	平成22年1月14日	「壁面緑化整備補助制度」開始。			
	平成28年4月1日	「墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱」改正。			
		壁面緑化補助器具の種類の規定、要綱解釈の明確化。			
	平成28年10月1日	納税確認の追加等、定義・要件を見直し。			
	平成31年4月1日	消費税の取扱いについて要綱に明記。			
	令和2年4月1日	「墨田区特別保全樹木等補助金交付要綱」改正。樹木診断費用の補助を新設。			
	令和4年8月1日	「墨田区みどりの補助金交付要綱」制定。助成制度を一本化。			
議会質問 の 状 況	令和5年10月決算特別委員会：補助事業の内容の見直しについて				
そ の 他 特記事項	令和7年度から「緑化推進事業費」に統合				

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		2,246	1,638	1,626	1,266	1,277	0
A. 決算額（令和7年度は見込み）		893	612	666	349	253	0
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		893	612	666	349	253	0
執行率（％）		39.76％	37.36％	40.96％	27.57％	19.81％	－％
B. 人コスト		0	0	0	2,554	1,831	
総事業費（A+B）		893	612	666	2,903	2,084	
予算書P（令和7年度）		P131 4		執行実績報告書P（令和6年度）		P69 2	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
負担金補助及び交付金	349	負担金補助及び交付金	236		
		委託料	17		
概 要		概 要		概 要	
				令和7年度から「緑化推進事業費」に統合	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	特別保全樹木助成件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		10	令和7年度	目標	—	8	9	9
				実績	7	6	7	5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	9	9	9	10	10	10
		実績	6	6	7	7	8	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		補助制度の利用者に偏りが見られるため、特別保全樹木の所有者及び管理者に改めて制度を周知し、助成件数を増やしていく必要がある。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	特別保全樹木指定件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		30	令和7年度	目標	—	30	30	30
				実績	30	30	29	29
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	30	30	30	30	30	30
		実績	30	30	30	29	30	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		本区は関東大震災と戦災、その後の都市化の進行に伴い、新規指定できる樹木は少ない状況にある。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	補助金事業の周知を強化し、利用促進を図る。

課題・問題点
対象となる樹木や、緑化が設置可能な建築物が区内に少なく、申請件数の大幅な増加が難しい。

令和7年度 補助金評価シート

No. 21

補助金名	緑のへい等設置補助金		
主管課	環境保全課	電話番号（内線）	5466
根拠法令	墨田区みどりの補助金交付要綱		
補助概要	墨田区内に新たに生け垣又は植樹帯を設置する者に対し、生け垣の場合1m当たり20,000円又は工事費（税抜）のどちらか少ない額、植樹帯の場合1㎡当たり24,000円又は工事費（税抜）のどちらか少ない額を助成する。		
目的	道路に面した沿道部へ、新たに生け垣や植樹帯の設置及びそれに伴うブロック塀等の取り壊しをする区民に対し、助成を行い「緑の満足度」の向上や「防災」に寄与する。		
対象	道路に面して道路通行者から十分視認できると認められる場所に緑のへい等を新たに設置し、又は緑のへい等ではないブロック塀等を緑のへいに造り替えた者		
基準	区独自基準		
補助条件	新たに沿道部に生け垣又は植樹帯を設けた場合。		
経過	開始年度	昭和48年度	終了予定
	昭和48年4月1日 「緑のへい設置奨励金交付実施細目」制定（生け垣、植樹帯の区分無し）。 平成元年4月1日 植樹帯の補助新設。「緑のへい等設置奨励金等交付実施細目」に改める。 平成3年4月1日 「緑のへい等設置補助金等交付要綱」制定。実施細目は廃止。 平成14年4月1日 改正。補助金額に上限を設ける。 平成28年10月1日 改正。納税確認の追加等、定義・要件を見直した。 平成31年4月1日 改正。消費税の取扱いについて明記。 令和4年8月1日 「墨田区みどりの補助金交付要綱」制定。助成制度を一本化。		
議会質問の状況			
その他特記事項	令和7年度から「緑化推進事業費」に統合		

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		680	420	420	420	200	200
A. 決算額（令和7年度は見込み）		636	0	0	0	0	200
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		636	0	0	0	0	200
執行率（％）		93.53％	－％	－％	－％	－％	100％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	緑のへい等助成件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		3	令和 7 年度	目標		3	3	3
				実績	2	3	2	1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	3	3	3	3	3
		実績	4	0	0	0	0	
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指標の選定理由及び目標値の理由						
		区内は住宅密集地が多く、設置できる場所が限られていることから、年度ごとの大幅な申請件数の増加は望めないため。						
		指 標	生け垣の長さ（平成元年度からの累計）				単 位	m
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		1,183	令和 7 年度	目標	—	1,103	1,113	1,123
				実績	1,092.9	1,108.3	1,115.7	1,125.7
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,133	1,143	1,153	1,163	1,173	1,183
		実績	1,149.9	1,149.9	1,149.9	1,149.9	1,149	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		各年度の申請（生け垣長さ）には差異があるため、累計での目標値とする。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	緑の満足度を高める有効な施策であるため、PRを進めて利用促進を図る。

課題・問題点
条例・要綱の対象となる建築物は対象外であることや、敷地内に緑地を設ける場所が少ないため大幅な申請件数増加は難しい。

令和7年度 補助金評価シート

No. 21

補助金名	特別保全樹木等補助金		
主管課	環境保全課	電話番号（内線）	5466
根拠法令	墨田区みどりの補助金交付要綱		
補助概要	（１）剪定等の維持管理に要する経費の補助 樹木：剪定等維持管理に要する経費の半額又は、2万円/1本のいずれか少ない額 生け垣：500円/1m （２）樹木診断等に要する経費の補助 樹木診断等に要する経費の半額又は、2万円/1件のいずれか少ない額		
目的	区内に残された自然度の高い貴重な保全樹木等の所有者又は管理者に対し、その維持管理費の一部及び樹木診断等に要する経費の一部を補助すること（各1年に1回限り）により、生活環境の保全及び快適な環境の確保を図ることを目的とする。		
対象	特別保全樹木等を所有若しくは管理する個人、中小企業者、学校法人、社会福祉法人、医療法人、宗教法人、住宅管理組合又は町会若しくは自治会		
基準	区独自基準		
補助条件	以下の条件を満たす特別保全樹木等の剪定等維持管理又は樹木診断等を行った場合。 1 樹木 地上1.5mの高さにおける幹の周囲が1.2m以上あり生育状況が健全であること。 2 生垣 高さ1m以上、総延長30m以上で道路に面しており、生育状況が健全であること。		
経過	開始年度	平成21年度	終了予定
	平成21年4月1日 特別保全樹木補助事業開始。 令和2年4月1日 「墨田区特別保全樹木等補助金交付要綱」改正。樹木診断費用の補助を設ける。 令和4年8月1日 「墨田区みどりの補助金交付要綱」制定。助成制度を一本化。 【特別保全樹木等指定状況（R7.3.31現在）】 樹木 29箇所 159本 生け垣 2箇所 189m		
議会質問の状況	令和元年3定：樹木診断助成の新設【約束事項：完結】		
その他特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		380	372	360	400	400	400
A. 決算額（令和7年度は見込み）		224	289	249	349	236	400
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		224	289	249	349	236	400
執行率（％）		58.95％	77.69％	69.17％	87.25％	59％	100％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	特別保全樹木助成件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		10	令和 7 年度	目標	—	8	9	9
				実績	7	6	7	5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	9	9	9	10	10	10
		実績	6	6	7	7	8	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		本助成制度の利用状況を指標として、貴重な樹木等の保全を図る。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	特別保全樹木指定件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		30	令和 7 年度	目標		30	30	30
				実績	30	30	29	29
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	30	30	30	30	30	30
		実績	30	30	30	29	30	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		本区は関東大震災と戦災、その後の都市化の進行に伴い、新規指定できる樹木は少ない状況にある。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	事業の区民への周知を通して、良質かつ貴重な樹木等を未来に引き継いでいくことの大切さを周知していく必要がある。

課題・問題点
特別保全樹木等に指定された樹木等について、区民に知ってもらう機会を作る必要がある。

令和 7 年度 補助金評価シート

No. 21

補助金名	屋上等緑化整備補助金			
主管課	環境保全課	電話番号（内線）	5466	
根拠法令	墨田区みどりの補助金交付要綱			
補助概要	墨田区内に新たに屋上等緑化をしようとする者に1㎡当たり1万円又は、工事費（税抜）の半額のいずれか少ない額を助成する。			
目 的	緑の満足度の向上、地球温暖化防止やヒートアイランド現象の緩和に寄与する屋上緑化の民有地への設置を促すため。			
対 象	新たに屋上等緑化をしようとする建築物を所有する個人及び中小企業者、学校法人、社会福祉法人、医療法人			
基 準	区独自基準			
補助条件	新たに建築物の屋上や屋根のないルーフバルコニー等に1㎡以上の緑地を設けた場合。			
経 過	開始年度	平成14年度	終了予定	
	平成15年1月14日	屋上緑化整備補助制度開始。		
	平成28年4月1日	「墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱」改正。 壁面緑化補助器具の種類の規定、要綱解釈の明確化。		
	平成31年4月1日	「墨田区屋上等・壁面緑化整備補助金交付要綱」改正。消費税の取扱いについて明記。		
	令和4年8月1日	「墨田区みどりの補助金交付要綱」制定。助成制度を一本化。		
議会質問の状況	令和4年10月決特：屋上緑化補助金交付要件（コンテナ使用・菜園も含む）見直し			
その他特記事項	令和7年度から「緑化推進事業費」に統合			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
予算現額（令和 7 年度は当初予算）		740	400	400	300	400	400
A. 決算額（令和 7 年度は見込み）		0	80	400	0	0	400
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	80	400	0	0	400
執行率（％）		－％	20％	100％	－％	－％	100％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	屋上緑化助成件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		2	令和 7 年度	目標	—	2	2	2
				実績	0	0	2	0
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2	2	2	2	2	2
		実績	0	1	1	0	0	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		民有地の屋上緑化推進のために助成制度を実施している。建築物の構造上の問題や、緑化工事費が高額であることから、年度ごとの大幅な件数の増加は望めない。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	助成による屋上緑化面積（事業開始年度からの累計）				単 位	m ²
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		2, 516	令和 7 年度	目標	—	2, 276	2, 306	2, 336
				実績	2, 246. 8	2, 246. 8	2, 328. 6	2, 328. 6
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2, 366	2, 396	2, 426	2, 456	2, 486	2, 516
		実績	2, 328. 6	2, 337. 18	2, 440. 65	2, 440. 65	2, 440. 65	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		各年度の申請には差異があるため、累計での目標値とする。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	既存の屋上緑化は、民間建築物屋上緑化調査を実施して良好な状態に保つ支援を行う。屋上緑化は都市部の緑地を増やす有効な手段であることから、更なる普及啓発を図り設置を推進していく。

課題・問題点
条例・要綱に基づく設置は対象外であることや、既存建築物の場合は構造的に設置が難しい場合があるため申請件数が少ない。